

フィーカ
Fika!

三菱電機ビルソリューションズ株式会社

| 2025 SPRING | Vol.13

ものづくりのまち
福井の新しい風





ものづくりのまち 福井の新しい風

福井は国内有数の「ものづくり」の集積地として知られています。

世界でトップシェアを誇るいくつもの製品・技術があり、この地ならではの伝統的工芸品や地場産業も盛んです。

JR北陸新幹線の福井・敦賀延伸から1年。福井の新たなものづくりや観光の魅力を紹介します。

眼鏡のオブジェ(上)

ハピラインふくい線鯖江駅から
続く「メガネストリート」にある



JR北陸新幹線(左)

2024(令和6)年、金沢から
福井・敦賀へと延伸。東京、
福井間は約2時間50分と以
前より約30分短縮された

あすわがわ 足羽川桜並木(右)

福井市の中心部を流れる足
羽川の堤防沿いは、「日本さ
くら名所100選」にも選ばれ
ている桜の名所。約600本の
ソメイヨシノが全長2.2kmに
わたって咲きほころ



鯖江の眼鏡フレーム製造 職人技によって保たれる品質

世界的に評価の高い「メイド・
イン・ジャパン」の眼鏡フレームは
軽くて丈夫、フィット感が抜群
と、海外からも高い評価を得てい
ます。その約9割が福井県鯖江
市で作られています。

「眼鏡フレームの製造には約
200の工程があり、厳しい品質
管理のもとで熟練の職人が一つ
一つ丁寧に手作業で仕上げてい
ます。それぞれが分業で、職人た
ちは美しく仕上げることに誇り
を持っています」と話すのは、福
井県眼鏡協会会長・佐々木英二
さんです。

デザインも多彩で、鯖江市の
「めがねミュージアム」を訪ねる
と、3000本以上の色とりどりの
眼鏡フレームがショールームに
並んでいます。

鯖江の眼鏡産業は、1905
(明治38)年に大阪から職人を
招いて農閑期の副業として始ま
りました。福井を代表する地場
産業に成長し、特に1980年代
前半、硬くて軽く金属アレルギー
を起こさない「チタン」の眼鏡フ

めがねミュージアム

アンテナショップがあり、産地メーカー約50社の最新モデルが揃う。「2025年は福井で眼鏡産業が始まって120年の節目の年。品質向上やスムーズな事業継承を図るため、眼鏡フレームづくりの体験設備やライバル企業同士が集まり産地を発展させていくための協議を重ねています」と語る佐々木英二さん



エクセル眼鏡 (左) ロウ付けの工程。この道10年のキャリアの加藤福恵さんは「キズがつかないように、強度が保たれるように慎重につないでいます」と、1日500~600本のフレームの部品をロウ付けする。(中央上) デザインは見た目の美しさや掛け心地、製造手順などを考慮して行う。チーフデザイナーの安井利彰さんは「年間100本ほどデザインし、そのうち20~30本が製品化されます」と言う。(中央下) プレスの工程。チタン部品のそれぞれに複数回プレスをかけることでフレームの堅牢性を高める



「MAXIS MXU-221」 製造時のCO2削減を実現した眼鏡フレーム。4種のカラーを発表(撮影協力/エクセル眼鏡)

フレーム製造に世界で初めて成功し、世界に名を馳せる眼鏡フレーム産地となりました。

デザインから製造、出荷までを一貫して行っている「エクセル眼鏡」の製造現場を訪ねました。

チタンフレームの細かい部品を製造するプレス工程では、一つの部品を作るために5~6回のプレスをかけています。この手間が丈夫なフレームのもとになります。

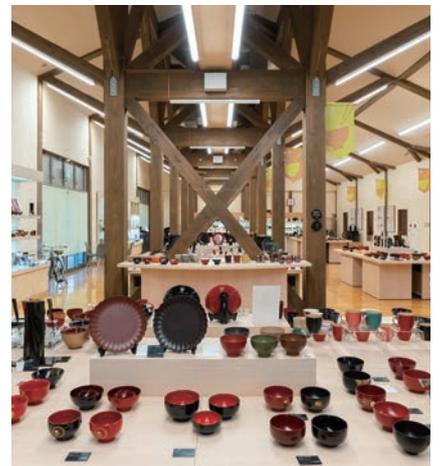
ロウ付け^{*}の工程では、細かい部品同士を丁寧に接合していきます。このほか、研磨、仕上げ、検品などさまざまな工程を経て、ようやく1本のフレームが仕上がります。どれもが繊細な手作業で、鯖江の眼鏡フレームの品質は、熟練の職人技によって保たれていることを実感できます。

それぞれの事業所が自社デザインナーを抱え、デザインを競い合っているのも鯖江の眼鏡フレームの特徴です。エクセル眼鏡の「MAXIS MXU-221」は、デザイン性やサステナブルな素材、製法が評価され、2024年「グッドデザイン賞」(経済産業省後援)を受賞しています。

^{*}金属の溶加材(ロウ材)を溶かして接合する手法



曾明漆器店 (左)「Kyutarou BLUE」シリーズ。マットなサラサラな表面が特徴。中性洗剤で洗えるため、手入れもしやすい。(右上) 三代目・曾明富代さんと四代目・晴奈さん母子。富代さんは「越前漆器の魅力を決世代に引き継いでいってもらいたい」と話す。(右下)「ビターカラース 木彩椀」も人気



うるしの里会館 越前漆器の奥深い歴史や、多彩な越前漆器の数々に出合える。(左) 館内の三菱エレベーターの意匠も越前塗。(中)「蒔絵の格天井」。一辺約45cmの格子に花鳥風月の蒔絵が描かれている。(右) 重箱、茶道具などから日常的に使用する箸、椀までさまざまな越前漆器を購入できる

伝統の越前漆器の中で 進化を遂げた「Kyutarou BLUE」

福井県では7つの工芸品が国の伝統的工芸品に指定されています*1。その一つ、越前漆器は1500年の歴史があり、漆の落ち着きのある光沢や上品な華やかさが特徴の漆器です。近年は実用的に使える業務用漆器の生産が盛んな産地となっています。

その産地に吹く新しい風がKyutarou BLUEです。

「現代の若い人に越前漆器を普段の生活に取り入れてほしいと考え開発しました」と「曾明漆器店」の曾明晴奈さんは語ります。

まずは木地の美しさや塗り物の魅力を知ってもらうために、半透明の塗り*2を施した6色のお椀「ビターカラース 木彩椀」を発表。予想を上回る反響があり、その後、6色の中でもお客さまから一番人気のあった青色に特化しました。

「青色の食器はタブー視される傾向がありましたがお客さまからの支持もあり、素敵な食器になるという自信がありました」(晴奈さん)

*1 越前漆器、越前和紙、若狭めのう細工、若狭塗、越前打刃物、越前焼、越前単筒
*2 業務用漆器の技術により開発され、食品衛生法をクリアしている安全・安心な「食器用ウレタン塗料」を使用



やなせ和紙 (左)川原にあった石に着想を得たという紙の箱「コブル」。(上)丸みをおびた「コブル」型に漉いて間もない和紙を貼る。紙の性質を熟知しているからこそできる作業。「乾いた後にしわが出ないように、その日の紙の状態を見ながら貼っていきます」(柳瀬晴夫さん)。(右)熟練者にしかできない「ちり取り」の工程。紙を漉く前に、原料のコウゾなどから出る小さなゴミを丁寧に取り除く



紙の文化博物館
越前和紙の複合施設、「越前和紙の里」にある博物館。産地を代表する和紙を多数展示。越前和紙の歴史や文化を学べる



おかもと おおたき
岡太・大瀧神社 日本で唯一、紙の神様を祀る。「日本一複雑な屋根」としても有名。1984(昭和59)年、国の重要文化財に指定。「やなせ和紙」の工房の近くにある

シリーズ名には創業者の曾明久太郎の名を取り入れました。現在、明るめ、濃いめの2色がありますが、職人との度重なる試行錯誤から生まれたこだわりのブルーでもあり、「越前の職人だからできる繊細な色合いです」(晴奈さん)。新たに青漆による器を開発中で「Kyutarou BLUE」シリーズをさらに進化させようとしています。

越前和紙を立体で表現 海外で人気の商品を開発

越前漆器と同様に長い歴史がある越前和紙でも、新しいものづくりが始まっています。

「やなせ和紙」の柳瀬晴夫さんは、襖紙などに使用する大型の和紙を漉く工程で、原料のコウゾなどから出る小さなゴミを丁寧に取り除く作業を、熟練者にしかできない「ちり取り」と呼ぶ。この工程は、紙の性質を熟知しているからこそできる作業。柳瀬さんは「乾いた後にしわが出ないように、その日の紙の状態を見ながら貼っていきます」と話す。

紙を伝統的な手漉きで漉いてきました。住宅事情が変わり、襖紙の需要は今や文化財や高級住宅に止まり、大きな伸びに期待できないのが実情です。

こうした中、「希望を持てる越前和紙の明日を切り拓きたい」と柳瀬さんが取り組んだのが、伝統産業の技術を生かして海外でも売れる商品³を募集するプロジェクト³でした。若手デザイナーと組んで、2次元の和紙に一定の強度をつけて立体的な造形づくりを行いました。完成したのが、モルン(雲)、コブル(石)などの名をつけた紙の箱です。一見、これが和紙?と感ぜられる不思議な形状が人気を呼び、今ではヨーロッパやアメリカからコンスタントに注文が入る商品に育っています。

「和紙の原料はコウゾ、ミツマタ、ガンピ⁴など天然の植物繊維です。できるだけ自然の素材を生かしたいという思いがあり、コブルの型に貼る糊もでんぶん糊⁵を使っています」(柳瀬さん)

今後は、「和紙の立体化にさらに挑み、越前和紙の可能性を追求したい」と柳瀬さんは意気込みを語ってくれました。

※3 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の主催

※4 和紙の主な原料となる植物。幹ではなく、樹皮の繊維を利用する ※5 米、じゃがいも、とうもろこしのでん粉が原料の糊

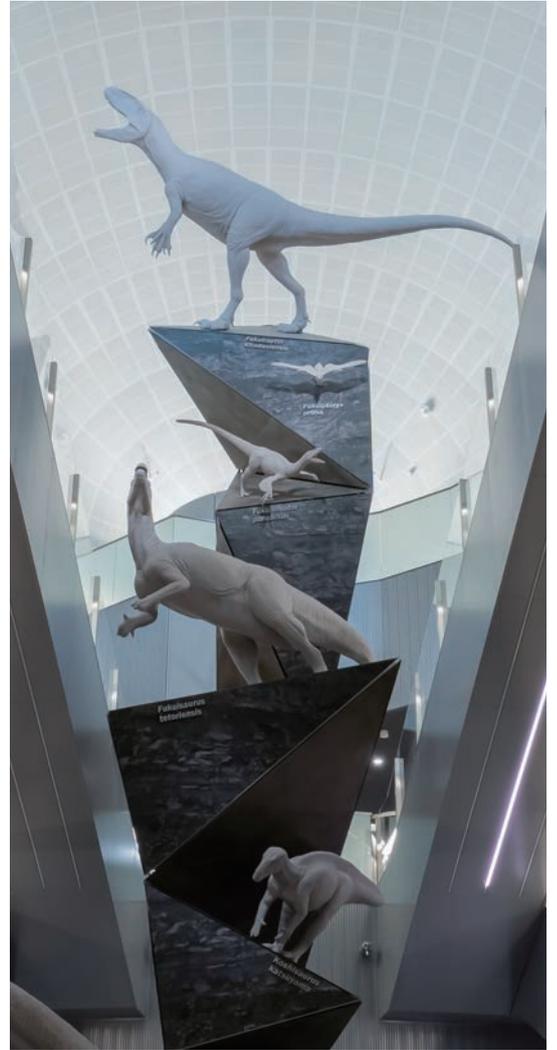


福井県立恐竜博物館

(上)「1F展示室・日本とアジアの恐竜」。福井県で発見された新種の恐竜、「フクイサウルス」と「フクイラプトル」の全身骨格標本と復元模型。発掘の様子も詳しく展示されている

(右)2023年増設された新館吹き抜けホールにそびえ立つ「恐竜の塔」。福井県で発見された新種の恐竜5種と鳥類1種の高さ13メートルのモニュメント

(左)「ミュージアムショップ」。さまざまな恐竜グッズを販売。人気の恐竜フィギュアは、獣脚類、装盾類など学術的な分類で品揃えしており、ここでしか買えない限定フィギュアもある



福井駅周辺の恐竜 JR福井駅周辺では、鳴き声を発し動く恐竜のロボットや全身骨格、トリックアートなどの恐竜たちが各所で見られる。2024年9月、広場の新たな顔として登場したスピノサウルス科の肉食恐竜、「スココムス」のロボット(左)と「フクイラプトル」「フクイサウルス」のトリックアート(右)

**“恐竜のまち”を実感
博物館や駅前で恐竜めぐり**

JR福井駅を降りると駅周辺のいたるところで恐竜のミニメントを目にします。実物大で動く恐竜や壁から飛び出す恐竜のトリックアートなど、そのスポットの多さに驚かされます。地域の顔ともいえる駅前で、なぜこれほどまでに恐竜をフィーチャーしているのでしょうか。

福井が恐竜のまちとして知られるようになったのは、1982(昭和57)年、勝山市を流れる川の崖でワニ類の化石が発見されたのが発端です。その後も続々と恐竜化石が見つかり、発掘地の近くに建てられたのが「福井県立恐竜博物館」です。

世界中から集められた恐竜の化石や全身骨格、巨大ジオラマの展示があり、3面ダイノシアター※では恐竜の時代にいるかのような臨場感を体験できます。日本の新種恐竜化石13種のうち6種が福井で発見されたもので、フクイラプトルやフクイベナートル、フクイサウルスなど福井の名を冠した恐竜の化石や復元骨格は見逃せません。

※コの字型3面(1面=高さ9m×幅16m)の巨大スクリーンに囲まれたシアター

北陸支社 福井支店

福井市大手3-4-1 (福井放送会館内)

地域産業との結びつきを大切に
お客さまに最適なソリューションを提案します

福井県は大きく嶺北・嶺南の2地域に分かれますが、福井支店ではその全域を担当しています。嶺北では眼鏡・繊維などの製造業のお客さまが多く、工場や倉庫で空調冷熱機器、エレベーター・エスカレーターなどの保守・管理を行っています。嶺南には原子力発電所が多く設置されており、発電所構内のエレベーターや換気・空調設備の保守・管理を行っています。支店内は縦割りをなくし、部門間の風通しのよい職場づくりを目指しています。地域の産業としっかりと結びつきながら、お客さまとコミュニケーションを図り、最適なソリューションを提供してまいります。



支店長
やました たくや
山下 拓也

私のイチオン

福井名物のおろしそばとソースカツ丼に感動

1933(昭和8)年創業の老舗そば店「越前つるきそば本店」は、私が入社1年目から担当しているお客さまです。その初年に、お店で「越前おろしそばとソースカツ丼」のセットを食べておいしさに感動しました。兵庫県出身なのでカツ丼といえば卵でとじたものしか知らず、少し甘いソースのかかったトンカツが、温かいごはんによく合うことに驚きました。おろしそばも「大根おろし出汁」がさっぱりしていて食べやすいです。福井県内の担当エリアを飛び回っており、月に2回ほどこちらで食事できる日を楽しみにしています。



営業課
なかなが そうた
中永 創太



「越前おろしそばとソースカツ丼」
(撮影協力/越前つるきそば本店)



永平寺 (上) 鎌倉時代に道元禅師が開創した曹洞宗の大本山。一步足を踏み入ると静寂な世界が広がる。(左)永平寺に向かう旧参道。1600年代の古地図に基づき復元され、約350mの石畳が続く(写真提供/大本山 永平寺)



東尋坊 海岸線に巨大な柱状節理が続く、美しい日本海と迫力ある断崖絶壁を楽しむ名所。国の天然記念物・名勝に指定されている

恐竜のまち、福井を実感するうえでもぜひ訪ねたい施設です。福井駅から恐竜博物館に向かう途中にある「永平寺」は13世紀に開創された曹洞宗の大本山。広大な敷地には70を超える諸堂があり、日本最高峰の禅道場として知られています。ここから西の日本海に向かえば、海岸線に約1kmにわたる断崖が続き、日本海の波しぶきが迫る「東尋坊」の絶景を楽しめます。

豊かな自然に恵まれ、伝統的工芸品や地場産業が育まれてきた福井。新たな見どころも加わり、ものづくりのまちに新しい風が吹き始めています。



いいね! ▶ 福井の名物&逸品

濃厚な甘味が広がる甘エビ



生でも赤い色が食欲をそそる甘エビは、口に含むと濃厚な甘味が口いっぱいに広がります。福井県の甘エビの漁獲量は全国で上位。旬は5～6月と9～11月で、その時期に獲れた中サイズ(約12グラム)以上のものは「ふくい甘エビ」として認定され、食通の舌を楽しませてくれます。(撮影協力/ひより)

つんとしたのどごしのなめらか「水羊かん」



ヘラなどですくいながら食べる水ようかんは、福井の冬の味覚です。1937(昭和12)年創業の「えがわ」の「水羊かん」は、水分たっぷりでのどごしがよく甘さもすっきり。黒糖の優しい香りが広がります。11～3月末の限定販売ですが、ジェラート(写真右)なら年中食べられます。(撮影協力/えがわ)

キュートなバウムクーヘン「VIVANT BAR」

ドライフルーツやチョコレートをもった棒キャンディ型のバウムクーヘンは、県産の米粉・卵を使用したもちもちの食感が魅力です。16層の生地は食べ応えも抜群です。ベースはプレーン・チョコ・ストロベリー の3種で、ダーク・抹茶など5種のチョコレートでコーティングしています。(撮影協力/VIVANT)



白絹のようなツヤとしなやかさ「羽二重餅」

繊維産業が盛んだった福井は、高級絹織物・羽二重の名産地でした。それにちなんで松岡軒が生み出した「羽二重餅」は、原料は餅粉、砂糖、水飴のみで、1905(明治38)年の発売以来配合は一切変わっていません。口の中で米の香りとともにとろけます。(撮影協力/羽二重餅総本舗 松岡軒)



100年の技でつくるカリッとジューシーな「竹田の油あげ」



1925(大正14)年創業・谷口屋の「竹田の油あげ」は厚いのに表面はパリッ、内側はふんわり、ジューシーでうま味たっぷりです。厚揚げではなく油揚げだからこそ味わい。地元の湧水とニガリ、国産大豆、希少な菜種油が原料の逸品です。(写真提供/谷口屋)

ブランドトマトが原料の「越のルビートマトドレッシング」



「越のルビー」は1992(平成4)年、福井県で誕生した中玉トマトです。糖度が高く、適度な酸味と絶妙なバランスで、皮も柔らかく食べやすいと評判です。このトマトを原料にしたさっぱりとした味わいのドレッシングです。(撮影協力/フレスコ)

読者プレゼント

福井の海を思わせるブルーの越前漆器「Kyutarou BLUE」カップをセットで



現代のライフスタイルに取り入れたい木の温もり。軽くて割れにくく、断熱・保温効果にも優れているので熱いものを入れても持ちやすい。濃い青色の「スタンダード」と薄い青色の「爽」のセットを3名様に(撮影協力/曾明漆器店)

巻末のとじ込みはがきからご応募ください。



※トラベル・スケッチ「福井」のオフショット集をご覧いただけます。当社ホームページ(【三菱電機ビルソリューションズ フィーカ】で検索)の「Fika!」のバナーからご覧ください。



福井マップ

毎日元気に！

快眠習慣

寝不足や不眠は、生活習慣病や心の不調につながります。今すぐできる快眠習慣を身に付け、睡眠の悩みを解消しましょう。

第5回

…解決します！

「寝ても疲れがとれない」

就寝前に目の周りを温めて心拍数を下げる

朝起きたときから、体が疲れている。最後に「よく寝た」と感じたのはいつだろう……。このように、夜はゆっくり休んでいるつもりでも、睡眠の質が悪いと感じることがありませんか？

これは、睡眠中の心拍数が高いことが原因です。血圧や心拍数を司る自律神経には、1日のうちで変動するリズムがあります。

自律神経には、交感神経と副交感神経がありますが、通常、就寝後は副交感神経が優位になって血圧も心拍数も低下します。ところが、ストレスがあったり、就寝前にスマホなどを見続けていたりすると交感神経が優位になり、就寝後も血圧や心拍数が下がりません。睡眠中に代謝活動が下がらないため、朝、目

覚めたときに疲れを感じてしまうのです。

これを解決するには、就寝前に心拍数を下げる。一番簡単にできる方法は、ホットアイマスクです。目の周りを温めると、心拍数下がる事が確認されています。お湯に浸したタオルを絞ったものや、濡れたタオルを電子レンジで温めたものを使います。それを就寝前、ソファなどに座って目の上に10分程度おきます。ホットタオルが冷めたら外して、就寝しましょう。いつもと同じ睡眠時間でも爽快感が得られると思います。

目の周りが覆われると、眠るためのホルモンであるメラトニンも増えて眠りやすくなります。就寝前のひと手間で、睡眠の質を上げましょう。



菅原 洋平
すがわら ようへい

作業療法士。1978年青森県生まれ。国際医療福祉大学卒業。国立病院機構にて脳のリハビリテーションに従事したのち、クリニックで睡眠外来を担当する傍ら、生体リズムや脳の仕組みを活用した研修を全国で行っている。著書に『あなたの人生を変える睡眠の法則2.0』（自由国民社）、『「めんどくさい」が消える脳の使い方』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）などがある。

「自分事」を社会に役立てる 皆さんに元気になつてもらいたい

NHKの人気番組『みんなで筋肉体操』でおなじみの筋肉博士、谷本道哉。

大学での研究活動と同時にトレーニングを通して時代や社会のニーズに応え、人々の健康をサポートしている。会社員から「筋肉を追究する」夢を追うため東大の大学院へ――。

自らの興味・関心に正直な谷本が歩んできた道とは？ (敬称略)

伝わったこと＝教えたこと
人の心に響く
言葉を考える

「上手にやれば、筋トレは5分でも10分でも効果があるんです」。そう笑顔で語るのは、NHK『みんなで筋肉体操』の指導者としても知られる谷本道哉。現在は順天堂大学スポーツ健康科学部の教授として研究活動を行う、真正正銘の「筋肉のスペシャリスト」だ。科学的根拠に基づいた谷本の筋トレは、「楽しむことが大事」という信条のもと、さまざまな工夫が凝らされている。

「フォームが崩れそうなところを予想して、正しい動きになるように声掛けをしたり、動きの邪魔にならない自然なリズムを考えたりしています。もしうまくできていなかったら、それは教えている僕に問題があるということ。伝わったことが、教えたことだと思ってるので」

トレーニング中に谷本が掛ける「きつくて辛くない」「がんばるか、超がんばるか、二択です」など、やる気を奮い立たせる数々の言葉も人気。ユーモアがあり、心に響く激励は、筋トレばかりではなく仕事や学業など生活のあらゆる場面に「効く」と

運動生理学者

たにもと みちや
谷本 道哉

Michiya Tanimoto

Profile

1972(昭和47)年静岡県生まれ。大阪大学工学部を卒業後、パシフィックコンサルタンツ(株)勤務を経て東京大学大学院で石井直方氏に師事。2024(令和6)年4月より順天堂大学教授。専門は運動生理学、トレーニング科学。NHK『みんなで筋肉体操』、同『筋肉アワー』などTV出演も多数。





▲筋肉に関するさまざまなデータを収集・分析、自身の研究に活用している



◀NHK『みんなde筋肉体操』をはじめ、谷本が指導する筋トレは手軽さと楽しさが好評



▲研究室にあるベンチプレス。重さにはこだわらず丁寧に行っている

評判だ。

「元は自分自身に対する声掛けの派生でしたが、随分話題にさせていただきました。僕はコピーライターの糸井重里さんが好きなので、心に響いてほしい言葉を考えてるのは楽しいですね」

筋肉ってかっこいい 「こうなりたい」と思うことが 研究の原動力

谷本の「筋肉愛」は子どもの頃から。

「最初はプロレスが好きでした。筋トレをするようになったのは世界陸上でスプリンターを見てからです。すごい筋肉の人がすごい速さで走る。機能につながる筋肉ってかっこいいなと思いました」

大学卒業後は設計コンサルタント会社に就職するが、ボディビルダーでもある運動生理学者・石井直方氏の執筆記事を読んで衝撃を受け、師事するため東京大学大学院への進学を志す。深夜

まで残業した後に受験勉強をするという努力を重ねて入学を果たし、大学院修了後は国立健康・栄養研究所^{※1}や大学で研究者としての実績を積み上げてきた。

「自分が『こうなりたい』と思うことを研究してきました。初めは単純に自分の筋肉を大きくしたり競技能力を上げたりすることばかり考えていましたが、その後、国立健康・栄養研究所で宮地元彦^{※2}先生に筋トレで動脈が固くなるという話を聞いて驚きました。実際に僕が装置で測ってみると、ものすごく血管が硬いわけです。動脈硬化を生じやすいI型糖尿病を患う、当時の理事長と僕の数値がほぼ同じ。そこから

健康に意識が向き、50歳を過ぎた今は、もっと広く健康を増進する方法を考え、発信していきたいと考えています」

かつて自身が携わっていた実験や最近注目されている研究についても丁寧な解説する谷本。純粋な探究心や好奇心が彼の研究のモチベーションになっている。

「僕が興味を持つのは基本的に『自分事』です。先まで見通しを立てる計画性のあるタイプではないので、今、自分事として取り組めることを目いっぱいやった結果が社会を良くすることにつながればいいと考えています。他人事より自分事のほうが熱中できますし、真剣に考えることもできるので、なんでも自分事にしていくのが大事ではないでしょうか。一人一人の『自分事』が集まって社会になつていくわけです」

高齢化が進む現在、「いかに元気に長生きできるかが重要」と語る谷本。「筋トレは筋肉がつくだけではなく、健康の維持、増進、長寿にもつながります。TV番組への出演は、皆さんに元気になってもらえる良い機会だととらえています」と結んだ。

※1 現・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

※2 スポーツ科学者。国立健康・栄養研究所を経て2021年より早稲田大学スポーツ科学学術院教授

久住昌之の

こう ぶく めし

口福飯

第1回

春の味、思い出の田ぜり蕎麦

家族で行った ザリガニ採りの思い出

ボクが子供の頃、調布の深大寺の南に、そう広くはないが田んぼがあった。その脇には幅1mくらいの小川が流れていた。水ぬるむ春になると、ボクは近所の友達と連れ立って自転車で乗って、そこにザリガニを採りに行った。

真つ赤なハサミを持ったアメリカザリガニは「マツカチン」と呼ばれて男の子に人気だった。ほかに小ぶりで色がずっと地味な褐色のニホンザリガニもいた。それは採れても嬉しくないので戻す。

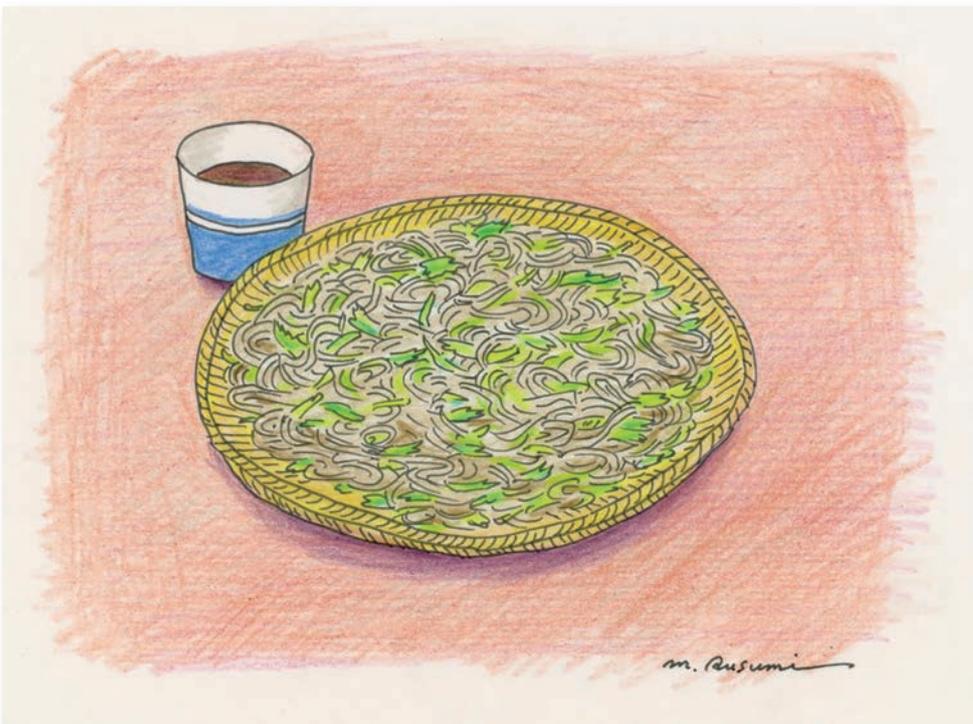
ときどきボクたちの父母も一緒に行くことがあった。その時は三鷹の家の近くからバスに乗って行く。

父たちは子供たちと一緒にザリガニを採ったり、ボクらの様子を眺めてタバコを吸ったりしていた。張り切ったお父さんがズボンを捲り上げて川に入っていることもあったな。

母たちは田んぼのあぜにしゃがんで、世間話をして笑いながら田ぜりを摘んでいた。今思い出すと、なんだか東京とは思えないのどかさだ。

ザリガニ採りと田ぜり摘みに行ったのは、春休みだったと思う。家族旅行なんでものはしたことがなかった。だからそういうのが春休み中の小さな家族単位のイベントだったんだろう。

夕方になるとみんなで戻り、それぞれの家に帰る。深大寺に来たのだから深大寺蕎麦を食べているなんて今のファミリーみたい



実家の田ぜり蕎麦



文・イラスト／久住昌之(くすみ まさゆき)

漫画家・音楽家。1958年東京都三鷹市生まれ。1981年、泉晴紀とのコンビ「泉昌之」として漫画家デビュー。以降、漫画執筆・原作、デザイナー、ミュージシャンとして活躍。谷口ジローとの共著『孤独のグルメ』(扶桑社)、水沢悦子との共著『花のスボラ飯』(秋田書店)のほか、『麦ソーダの東京絵日記』(扶桑社)など著書多数。

発想はまったくなかった。要するに貧しかったのだ。

母が作るせり蕎麦は春の味そのものだった

母は、摘んできた田ぜりでせり蕎麦を作ってくれた。

田ぜりはせりの仲間だが、野生のせり。もともと茎が短く小さい。旬も少し遅い2月終わりから4月。そういえば、春の七草にも一番にせりが入っている。あれはたぶん田ぜりのことだろう。今居酒屋なんかで食べるせり鍋のせりは栽培されたもので、冬が旬のようだ。

蕎麦を茹でている途中で、ざくざく切ったせりをその中にドサツと投入する。それが見ていると驚くほどの量だった。蕎麦とせりの割合が2対1くらいに見えた。せりは茹でられてやわらかく小さくなつて、蕎麦と混じり合つてしまふ。それでも緑の存在感はすごい。

これを流水で冷やして、水を切つてざるに盛り、蕎麦猪口のつゆにつけて食べる。

見た目にせりが邪魔で蕎麦が吸りにくそうだ。最初見た時は

「えー」と思った。せりを避けて食べる事ができない。恐る恐る食べてみると、思いがけずおいしく驚いた。

蕎麦を吸ると、当然せりも口に入ってくる。ジャクジャクとしたかみごたえで、でもやわらかく、蕎麦との違和感がないのが不思議なほどだ。子供でも抵抗なく食べられた。

口の中にせりの香りが広がり、昼に遊んだ田んぼの春景色が頭に浮かんだ。

途中から、母が焼き海苔を揉んだのを持つてきて、これを入れて食べるのがまたおいしい。

蕎麦は市販のものだったが、つゆは母が前の晩から何やら仕込んで作っていた。昆布や鰹節のほかに、乾燥椎茸も入れていた気がする。

六畳間のテーブルに置かれたひとつの大きなざるに入った蕎麦を、父と母と弟とで蕎麦猪口に取つては食べた。蕎麦がなくなると、母は第二弾の蕎麦を茹でた。

あんなふうには蕎麦にせりが混じり込んだせり蕎麦、大人になつて街の蕎麦屋で食べたことがない。どこか地方に行けば食べられるのだろうか。

ザリガニや田ぜりを採った田んぼは、現在は神代植物公園水生植物園と、深大寺城そば畑になっているようだ。

東京・味多香庵のせり蕎麦は春を待つ味

今も三鷹にある古い小さな町蕎麦屋「味多香庵」には、冬季だけ「せり蕎麦」が出る。

これは温かい蕎麦で、蕎麦の上には、豚バラ肉と、生のせりがのつている。このせりをつゆに浸すようにして蕎麦と一緒に食べると、香りがよくてすごくおいしい。もちろん田ぜりでなく普通のせりだ。母が作ったのに比べると、せりの量がずいぶん少ないが、不満はない。これは春を待つ味。

ボクは午後2時ごろ行つて、ビールの中瓶と板わさなどを頼み、一杯やつてからせり蕎麦を注文することが多い。この時間は空いていて、窓から午後の日差しが入り、水槽では金魚が泳いでいて、実にのんびりした気持ちになる。

そういえば子供の頃の食卓の横にも、小さな金魚鉢があったな、と今思い出した。



DATA

味多香庵

東京都三鷹市下連雀3丁目16-11
☎ 0422 (43) 4619
営業時間／11時～20時30分
定休日／火曜日

味多香庵のせり蕎麦(著者撮影)

日本の神様めぐり

日本には^{やおよろず}八百万の神々がいるといわれます。
神様研究第一人者の平藤喜久子氏のナビゲートで
日本の神様をめぐります。

第5回

良縁に関わる神様



八上姫公園(鳥取市)／著者撮影

オオクニヌシの恋の数々
ヤガミヒメとの悲恋の地を訪ねて

春になると、進学や就職などで新しい生活へと踏み出す人も多いでしょう。人間関係も変化し、新たな出会いも訪れます。友人、隣人、仕事など、さまざまな人や物事との出会いは、「縁」があればこそ得られるものです。そう考えると「良縁」は多くの人の願いでもあります。

古くから良縁、縁結びを願われてきた神様といえば、なんといってもオオクニヌシが挙げられます。オオクニヌシは、「偉大な国の主」という意味の名で、その活動は農業から医療まで幅広く語られています。その中にはたくさんさんの女神たちとの恋愛も含まれています。

最初の恋愛の相手は、因幡国(いなばのくに)(現在の鳥取県)のヤガミヒメ。オオクニヌシは、たくさんさんの兄弟たちと結婚を申し込みにいきます。その途中で傷ついたウサギに会い、正しい治療法を教えて助けたところ、すっかり治ったウサギから「ヤガミヒメは兄弟たちではなく、あなたを選ぶだろう」と予言を受けます。そのとおり、ヤガミヒメはオオクニヌシを結婚相手を選びました。

鳥取市の白兎海岸(はくと)は、オオクニヌシがウサギと出会った場所として知られています。砂浜には江戸時代に若者たちが縁結

びを願って立てたという石灯籠があります。オオクニヌシがヤガミヒメを恋慕った場所で、近くには恋の成就を予言したウサギを「白兔神」として祀る白兔神社があり、良縁を願う人々と賑わっています。

ヤガミヒメの伝承地は、白兔海岸から20kmほど内陸にあり、ヤガミヒメを葬ったと伝えられる嶽古墳のそばには、ヤガミヒメを祀る賣沼神社とオオクニヌシとヤガミヒメのモニュメントのある八上姫公園があります。

オオクニヌシとヤガミヒメの恋愛は、兄弟たちの恨みを買って、オオクニヌシは2度も殺される目に遭いますが、そのたびに復活し、さらに美男子になり、さまざまな試練を乗り越え、「偉大な国の主」として成長していきました。その過程でスサノオの娘を正妻にすることとなり、ヤガミヒメは身を引きます。オオクニヌシとヤガミヒメとの初恋は悲恋に終わりますが、オオクニヌシが成長するきっかけになります。

縁結びの神・オオクニヌシといえば、島根県出雲市の出雲大社が思い浮かびますが、縁結びの神となる起源の地として鳥取市の白兔海岸やヤガミヒメの伝承地を訪ねてみてはいかがでしょうか。

スサノオとクシナダヒメの新居は心も清々しい須賀の地

ところで、オオクニヌシの先祖（日本書

紀では父）であるスサノオもまた、良縁の神です。スサノオは、高天原では乱暴を働き、アマテラスが天の岩屋に閉じこもるといふ事件を引き起こしますが、高天原を追い出され、出雲にやってくると、打って変わって英雄として活躍します。よく知られた「ヤマタノオロチ退治」の神話です。

スサノオは出雲にやってきたとき、泣いている老夫婦と娘のクシナダヒメに出会います。老夫婦は、ヤマタノオロチが娘を食べに来ることを嘆いており、スサノオはクシナダヒメと結婚することを条件に、その退治を請け負います。ヤマタノオロチは、八つの頭、八つの尾を持ち、八つの山を渡るほど巨大で恐ろしい怪物ですが、強い酒を飲ませて眠らせ、見事討ち果たすことに成功しました。怪物退治の末に結ばれた二人は、縁結びを願われるようになります。

スサノオとクシナダヒメの新居は、スサノオの心が清々しくなった須賀の地につくることになりました。この宮に起源を持つとされる雲南市の須我神社は、八雲山に奥宮があります。少し険しい山道を息を切らしながら登っていくと、立ちはだかるように現れる大きな岩が奥宮で、ここにスサノオ、クシナダヒメ、御子神が宿るとされています。良縁がしっかりと根付くことを祈りたくなる、そんな磐座（神の宿る岩）です。



須我神社奥宮（島根県雲南市）／著者撮影

平藤 喜久子

ひらふじ きくこ

1972年山形県生まれ。國學院大學神道文化学部教授。専門は神話学。特に日本の神話がどのように読まれ、扱われてきたかについての研究を行っている。『日本の神様解剖図鑑』（エクスナレッジ）、『神話でたどる日本の神々』（筑摩書房）など著書多数。



未来へつなぐ 技術への 挑戦

▶第12回

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は「技術革新へのひたむきな挑戦と、人と社会に寄り添った価値の提供により、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します」を企業理念としています。



稲沢ビルシステム製作所
開発本部 フィールド技術開発部
空調冷熱・システムサービス開発課長
博士(情報工学)
妻鹿 利宏



稲沢ビルシステム製作所
開発本部 フィールド技術開発部
空調冷熱・システムサービス開発課
むらやま しゅういち
村山 修一

ビルの省エネをトータルでサポートする 「スマート・省エネ・アシスト」 お客さまに代わって 自動で空調機を最適に制御

ビルの消費電力の中で、大きな割合を占める空調。

お客さまのビルの現状を把握して、高度な空調制御によりビルの省エネをトータルでサポートするサービスが「スマート・省エネ・アシスト」である。

開発に携わった稲沢ビルシステム製作所開発本部の妻鹿利宏と村山修一に
本サービスの背景、経緯、今後の展開などを聞いた。

お客さまの省エネ計画を PDC Aサイクルでサポート

電気料金高騰に対応するためのビル運用コストの削減、温室効果ガスの排出抑制、省エネに関する法規制遵守などの観点から、ビルの省エネ対策が急務となっている。当社は、そのニーズに応えるべく、新たな省エネ制御技術の開発に取り組んできた。

その一つが、ビル設備運用システム「ファシーマB Aシステム」におけるファシーマサポート契約のオプションサービス「スマート・省エネ・アシスト」で、ビルの省エネを自動で実現

する※1。

本サービスは、当社が開発した新技術「省エネシミュレーション」「アクティブ省エネ制御(遠隔制御)」により、空調機を細かく制御。専門スタッフの確かなコンサルティングにより、ビルの省エネ活動を計画から実行、評価、改善までPDC Aサイクルでトータルにサポートする。

「省エネシミュレーション」は、削減可能なピーク電力や年間電気使用量を試算し、省エネ制御効果を表やグラフなどで見える化し、具体的な省エネ計画を立案する(計画)。これを受けて、「アクティブ省エネ制御(遠隔制御)」では、立

案した省エネ目標に向けて、その日の外気温等も考慮したきめ細かな自動制御により空調機を運転する(実行)。お客さまはパソコンやタブレットで省エネ効果をいつでも確認でき(評価)、1年が経過した段階で、電力削減結果をふまえ、制御対象とする空調機や省エネ制御内容の見直しを専門スタッフが提案※2していく(改善)というサイクルである。

空調機ごとの消費電力をもとに 「高精度のシミュレーション」& 「省エネ制御機能」を開発

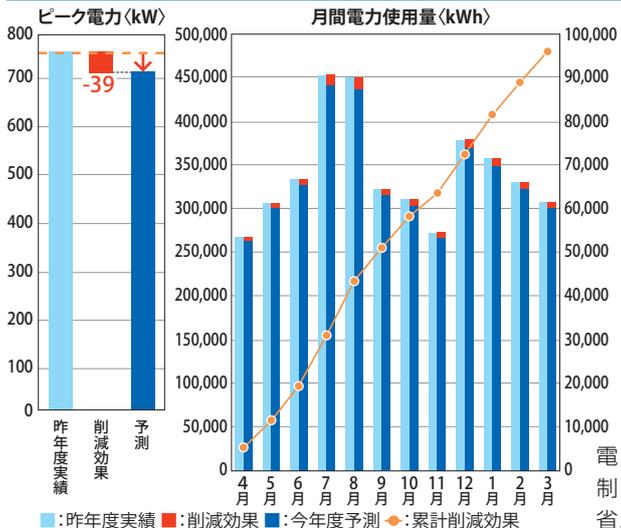
開発を担当したフィールド技術

※1 空調機が三菱電機製であることや、三菱ビル設備オープン統合システム「ファシーマB Aシステム」、空調管理システム集中コントローラー「AE-200」が導入済みであることがサービス利用の条件となる。

※2 別途ファシーマサポート契約「スマート・プランニング・アシスト」の適用が必要

■「省エネシミュレーション」イメージ

電力削減効果を試算

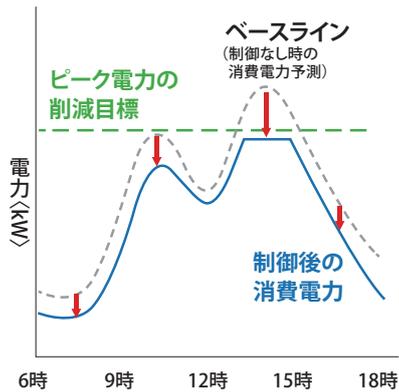


ピーク電力(例)	
昨年度実績	752kW
削減効果	39kW
シミュレーション予測	713kW
削減率	5%

年間電力使用量(例)	
昨年度実績	4,089,224kWh
削減効果	95,779kWh
シミュレーション予測	3,993,445kWh
削減率	2%

電力実績と空調稼働実績より、省エネ制御適用時の削減効果を算出可能な省エネシミュレーションを開発

■「アクティブ省エネ制御」イメージ



空調をきめ細かく制御することで「ピーク電力」と「電力使用量」をコントロール

開発部の妻鹿利宏は「開発に注力したのはシミュレーション機器の制御効果の見える化と見直しというPDC Aサイクルの設計で、次にそれらを実現する技術の開発にかなり時間を要しました」と語る。

具体的にはお客さまが要望する省エネ目標を達成するためのシミュレーションにおいて、空調機ごとの消費電力量を切り出すのに苦労したと言う。

「ファシマBAシステムは空調設備のオンオフや設定温度などを記録します。今回はこのデータを元に空調機ごとの使用電力を推計し、省エネシミュレーションのデータを提供できるようにしました」と同部門のエンジニア村山修一は語る。

「実際にお客さまのビルで稼働している空調機のデータを用いたシミュレーションであり、より精度の高い省エネ提案が可能になりました」(妻鹿)

さらに実行段階の「アクティブ省エネ制御(遠隔制御)」においては、「ピーク電力と電力使用量をコントロールするために、当日の気温まで見据えて30分ごとのきめ細かい目標値を設定し、それに応じた

空調機のローテーション運転や能力セーブ運転が行えるようにしました^{※3}」(村山)

省エネ運転実施前後の電力消費量を日単位、月単位でも比較できる画面設計を実現し、お客さまが省エネ効果をデジタルに確認できるようにした効果も大きい。

実際に導入したビルのオーナーからは高い評価を得ている。例えば地上8階・地下1階延床面積7200㎡の事務所ビルでは、導入後にピーク電力を2.35%削減、使用電力量を10.27%削減することに成功した。お客さまからは「省エネ削減効果が見える化され、時間軸で把握することができて管理がしやすくなった」「導入後の省エネが目に見えて効果をあげて、大変満足」といった声が寄せられている。

「快適性を担保する制御機能の実現と適用範囲の拡大を目指す」

2024年2月、当社は新たな三菱ビル設備オープン統合システム「ファシマBAシステム2」を発売した。高度化・大型化するビルに対応するシステムであり、同年12月には空調冷熱総合管理システム「AE-CZJ」への接続などの機能

拡充も図った。「ビル内の設備コントローラーの情報を統合管理し、視認性・操作性に優れた監視画面を提供することで、ビル管理業務の効率化、省力化にいつそう貢献します。『スマート・省エネ・アシスト』も順次、新たなファシマBAシステムに対応していきます」(妻鹿)

今後の取り組みについて妻鹿は、「制御による室内環境の変化を、制御計画生成にフィードバック可能なシステムにバージョンアップしていきたいと考えています。本サービスはこれまで省エネに重きを置いてきましたが、今後はより快適性を担保できるよう、30分単位で快適性を反映できる緻密な制御機能の実現を目指します」と語る。

村山は「本サービスはファシマBAシステムが設置されていることが条件の一つですが、ファシマBAシステムは一定の規模以上のビルに対応したサービスです。今後は小規模ビルにも対応できるシステムの開発を検討中です」と意欲を見せる。

ビルの省エネをスマート化していくための2人の挑戦は、今後も続いていく。

※3 ビルの電気料金は基本料金と電力量料金で構成されており、基本料金は基本料金単価とピーク電力によって決定される。ピーク電力が更新されると以降12か月は、更新されたピーク電力で基本料金が算出される。



▲ホテル側のエレベーターは三方枠やかご室内の意匠に重厚感のある「カラーステンレスパイプレーション」を採用



◀ファサードに県産材の「ヒバ」をあしらったJR青森駅東口ビル(写真提供/東日本旅客鉄道株式会社)

Customer's Voice

カスタマー・ボイス

JR青森駅東口ビルさま

新設エレベーター・エスカレーターの導入 駅周辺の賑わいを創出 中心市街地の活性化と地方創生を目指す

ねぶた祭りや三内丸山遺跡などで知られる青森市。その玄関口となるJR青森駅に2024年、新たなランドマークが誕生しました。駅ビル開発の経緯や昇降機の果たす役割について、東日本旅客鉄道盛岡支社の牧尚史氏、JR東日本青森商業開発の平岡和也氏に伺いました。



東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社
地域共創部 マーケット創造ユニット
マネージャー
まき たかし
牧 尚史 氏



株式会社JR東日本青森商業開発
執行役員 営業部長
ラビナ・& LOVINA 店長
あおもり旬味館 店長
ひらおか かずや
平岡 和也 氏

概要	JR青森駅東口ビル
所在地	青森県青森市柳川1-1-5
竣工	2024年4月
階数	地上10階
	1～3階・商業施設「& LOVINA」
	4階・行政施設 「あおもり縄文ステーションじよもじよも」 「青森市民美術展示館」
	6～10階・ウエルネスホテル「ReLabo」

納入設備 ・エレベーター5台、エスカレーター4台

県内観光の玄関口として進化 ウエルネスツーリズムを発信

JR青森駅は東北新幹線新青森駅開業で、その役割が単なる交通結節点から県内観光の玄関口へと進化してきました。

2018年、JR東日本、青森市、青森県、青森商工会議所の4者が「青森駅周辺のまちづくりに関する連携協定」を締結し、駅周辺の賑わい創出に取り組んできました。この流れを受けてJR青森駅に駅の東西をつなぐ自由通路と駅舎が完成。さらに旧駅舎跡地を活用した駅ビル開発が進み、2024年4月にJR青森駅東口ビルが開業しました。同ビルのコンセプトについて牧尚史氏はこう語ります。

「目指したのは中心市街地の活性化と地方創生です。地域密着型の商業施設や文化施設を拡充した『&LOVINA(アンドラビナ)』や、地域の歴史・文化を発信する行政施設『あおり縄文ステーションじよもじよも』『青森市民美術展示館』、そしてウエルネスをコンセプトとしたホテル『ReLabo(リラボ)』を誘致しました。&LOVINAには新たにアウトドア専門店が入

居し、駅ビル全体が健康と旅を融合したウエルネスツーリズムの発信拠点となっています」

平岡和也氏は「&LOVINA開業による商業施設面積の拡大に伴い、飲食ゾーンを新設し、お客さまに人気の専門店の売場を広げました。&LOVINAの店名には、旧来のLOVINAとともに地元のお客さまとより豊かな生活を創るという想いが込められています」と語ります。

三菱昇降機を新設導入 カラーステンレス バイブレーションを採用

&LOVINAやReLaboを擁するJR青森駅東口ビルは開業に合わせて、三菱電機ビルソリューションズ製のエレベーター5台、エスカレーター4台を新設しました。

「LOVINAには三菱エレベーター・エスカレーターが設置されており、機器の性能、保守ともに信頼感がありました。新駅ビルにおいても積極的な提案をいただき導入を決めました」(牧氏)

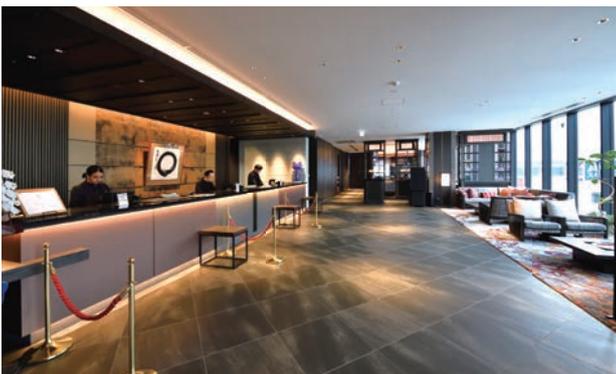
ホテルのエレベーター2台は商業施設等と共用のため、セキュリティや意匠の面で特別仕様が求められました。



▲駅に続く自由通路から見た商業施設「&LOVINA」のエントランス



▲人気の飲食店が並ぶ「&LOVINA」1階フロア



◀ウエルネスホテル「ReLabo」。フロント(左)と青森ベイブリッジや八甲田丸を眺めながら医師や管理栄養士が監修した料理を味わえるレストラン「ウエルネスガストロミー」(右)



▲「LOVINA」のリニューアルに合わせてエスカレーターを改修



▲「LOVINA」のエレベーターは施設との統一感に配慮した木調デザイン

「さまざまな提案をいただきましたが、乗り場およびかご室にはカラーステンレスバイブレーション※1を採用し、重厚感を演出しました。セキュリティ面ではカードリーダーで利用制限ができる機能を付けました。いずれも期待通りの仕上がりでホテルからも高い評価をいただいています」(牧氏)

「サステナブルな館」が目標 「重点共創エリア」指定を生かす

「&LOVINA開業により商業エリアの売上高や客数は前年比約190%(2024年7～11月実績)と好調」(平岡氏)で、「青

森駅前の歩行者通行量も前年比150%以上(2024年6月末実績)となり、JR青森駅東口ビル開業により周辺の交流人口が増えています」(牧氏)と言います。

設備の維持・管理については「適切なコスト、エネルギーの消費で機能を維持する『サステナブルな館』

にしていくことが目標です」と牧氏。平岡氏は「お客さまが心地よく過ごしていただくためには安全・安心が大前提で、巡回時に異常がないかを常に意識しています」と語ります。

将来に向けては「入居者の皆さまと連携しながら、地域のご利用

者に愛着を持っていただける、そして誇りに思っていたただけるビルを目指していきたい」(牧氏)、「駅周辺の施設も巻き込んだキャンペーンの実施などで、お客さまとの距離をどんどん縮めていきたい」(平岡氏)と語ります。

2025年12月～2026年3月まで、JR東日本の青森県、JR北海道の道南エリアが「重点共創エリア※2」に指定され、地域の観光資源を生かした催しが計画されます。また、今年度は青森開港400年の各種イベントも予定されており、賑わいの拠点として同ビルへの期待はますます高まっています。

担当者からのメッセージ



三菱電機ビルソリューションズ
北日本支社
営業部 営業二課

小野村 卓也

北東北エリアを中心に新設昇降機の営業を担当しています。今回は青森駅を中心としたコンパクトシティの核となるビルの安全・安心・快適な空間づくりに携わることができ、私自身にとっても貴重な経験となりました。ホテル側のエレベーターについては、乗場やかご室の意匠で重厚感のあるイメージを実現しました。また、納期に遅れることなく昇降機を設置することができました。今後もさまざまな暮らしの空間におけるお客さまの課題解決に貢献する提案を目指していきます。

※1 カラーステンレスの表面に研磨模様を付けた意匠

※2 地域とJR東日本グループが一体となって地域共創施策を重点的に実施し、交流人口・関係人口の拡大を目指す取り組み

複数種類・複数台のサービスロボットの 統合管理を提供開始

スマートシティ・ビルIoTプラットフォーム「Ville-feuille®(ヴィルフィーユ)※1」を活用した「ロボット移動支援サービス」の新機能として、ビル内でサービスロボット(以下ロボット)が安全かつスムーズに運行するための「ロボット管制※2」と、複数種類・複数台のロボットを一元的に監視する「ロボット統合監視」を開発し、提供を開始しました。

近年、少子高齢化に伴う労働力不足を受け、ビル内の搬送・警備・清掃などの業務におけるロボットの活用が進んでいます。今後、ロボットが担う業務の拡大や利用推進により、導入台数の増加が見込まれますが、ビル内で複数種類・複数台のロボットを同時に運用するには次の課題があります。

課題① 各々自律的に移動するロボット同士の衝突による稼働率低下やロボットの損傷、狭い通路や交差点路における対面での膠着による稼働効率の低下

課題② 監視対象のロボット種別や台数の増加による、管理者の監視業務の煩雑化や負荷の増加

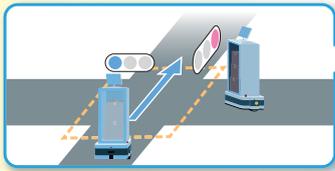
今回開発した「ロボット管制」機能により、ビル内におけるロボット同士の衝突や対面での膠着などの事故の回避が可能になります。また「ロボット統合監視」機能では、ビル管理者がPCやタブレット端末から複数のロボットの位置や稼働状況、異常などをグラフィック画面上で一元的に監視できるため、ロボットの管理業務の効率化や省力化に貢献します。

ビル内のロボットの稼働効率向上と管理者の業務省力化に貢献

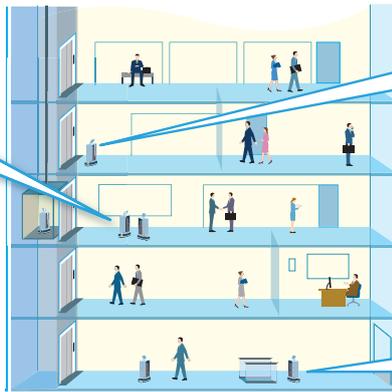
ロボット管制

NEW!

狭路、交差点路におけるロボット同士の衝突や対面膠着の回避



ロボット移動支援サービスイメージ



エレベーター連携

ロボットのビル内での自由な縦移動をサポート



入退室管理システム連携

セキュリティーエリアの出入りをサポート



ロボット統合監視

NEW!

わかりやすいグラフィックモニター表示で、ビル内のロボットを一元監視



- ※1 エレベーター、空調、照明、ロボット、入退室管理システムなどのさまざまなビル内設備の稼働データやセンシングデータなどを収集・蓄積し、データ処理を行うIoTプラットフォーム。
<https://www.MEBS.co.jp/smartcity-buildsolution/ville-feuille/energy-management/>
- ※2 複数のロボットが通行する可能性のある箇所を調停エリアとして設定することで、そのエリアへのロボットの進入可否を判断し、通行または待機を指示。各ロボットに対して通行の優先度も設定でき、複数種類・複数台のロボットを安全かつスムーズに運行可能。



4月から新デザインの作業服を 順次着用開始

さまざまな業務に対応した
多機能性作業服にデザイン・仕様を統一

当社では、開発・製造・工事・保守など業務内容により作業服のデザインや機能が異なっていました。が、全部門で対応可能な多機能性を有した新作業服を製作しました。本年4月から順次着用を開始し、2027年3月までに統一していきます。

新作業服は、お客さまがご覧になった際の統一感や、全従業員の一体感の醸成を目的に、業務内容に関わらず新デザインに統一しました。また、職場で働く従業員の声を反映し、どの業種・作業環境にも適合するようポケットの位置を工夫し、夏服には通気性、冬服には保温性に優れた伸縮性の高い生地を採用することで、機能性、安全性、快適性の向上を図りました。

これからも従業員一丸となり、お客さまへの安全・安心・快適な製品・サービスの提供に努めてまいります。



お客さまからのお便り

伝言板



今回のテーマ

最近買ってよかったもの



少しおしゃれな老眼鏡

老眼が進み、新しく少しおしゃれな老眼鏡に買い換えました。気分爽快で、読書の時間も増えました。

(山形県・武田さん)



Aー機能が付いた冷蔵庫

15年使い続けた冷蔵庫を買い換え、サイズが大きくなりました。それだけでなく、なんとAー機能が付いていてエコ判定までしてくれました。しかし、どうやっても(節電レベルを表す)星が1つから増えませんでした。一体どうすればいいのでしょうか……。

(東京都・鈴木さん)

燃費のいいハイブリッド車

ハイブリッド車を買いました。2500ccで、春秋のエアコンを使わないときは18km/ℓ走ります。ガソリン価格が高い折、助かっています。

(長野県・山口さん)

愛犬もくつろぐリビングのソファ

子供が大きくなり、リビングで遊ぶこともなくなつたので、念願のソファを購入しました。ゆっくりお茶を飲めるし、じっくりテレビで映画を見たりもできるし、最高です。でも、1日のうちで一番ソファに陣取り、くつろいでいるのは愛犬です。今日もソファの上で気持ちよさそうに寝ています。見ているこちらもうれしくなります。

(愛知県・中田さん)

おばあちゃんへのコートのプレゼント

おばあちゃんと一緒に出かけた際に、気に入ったパープルのコートを見つけてきました。店員さんに「着て帰りませ」と伝え、おばあちゃんが気付かないうちに会計を済ませてプレゼントしました。最初は「申し訳ない」と言われましたが、最後には喜んでもらったのでよかったです。

(大阪府・小上屋さん)

髪が増えた?頭皮マッサージブラシ

このところ髪が薄くなり、それを気にしていたため「頭皮マッサージブラシ」を購入。まだ3カ月しかたつていませんが、幾分増えた感じがあ

ります。ブラッシングがささやかな楽しみです。

(島根県・古志さん)

ヨウム*のための爪研ぎグッズ

21歳のヨウムの女の子のために買った、軽石の爪研ぎグッズです。本人が気に入ってくれたので、爪が研げるようになりました。ウロコインコにも同じ物を買いましたが、そちらは軽石に乗ってくれません。

(広島県・隅田さん)

楽に寝起きができるベッド

買ってよかったのはベッドです。部屋のスペースはとりませんが、寝起きの際なこと……。これならもっと早く購入すべきでした。暑さ寒さも知らず、腰痛もなくスムーズに過ごせています。

(福岡県・大原さん)



ビルや施設などの設備についてご相談・ご要望などがございましたら、とじ込みはがきにご記入の上、お送りください。



*大型インコの一つ

本誌名「Fika!」は「お茶をする(スウェーデン語)」という意味です。お茶と一緒に本誌を手に取って一息ついていたいただけたら幸いです。



表紙写真

青色×木の器「Kyutarou BLUE」

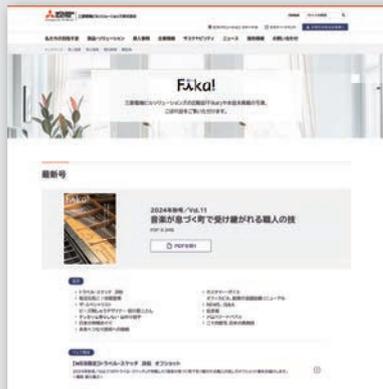
越前漆器の産地で生まれた、青色と木の食器というこれまでにない組み合わせの「Kyutarou BLUE」シリーズ。透明の塗りと青色の半透明の塗りにより、青と木目が織りなすグラデーションが美しい。写真は濃淡2色の青色を片面、両面の塗りで選べる丸皿のシリーズ。

(撮影協力/曾明漆器店)

Contents

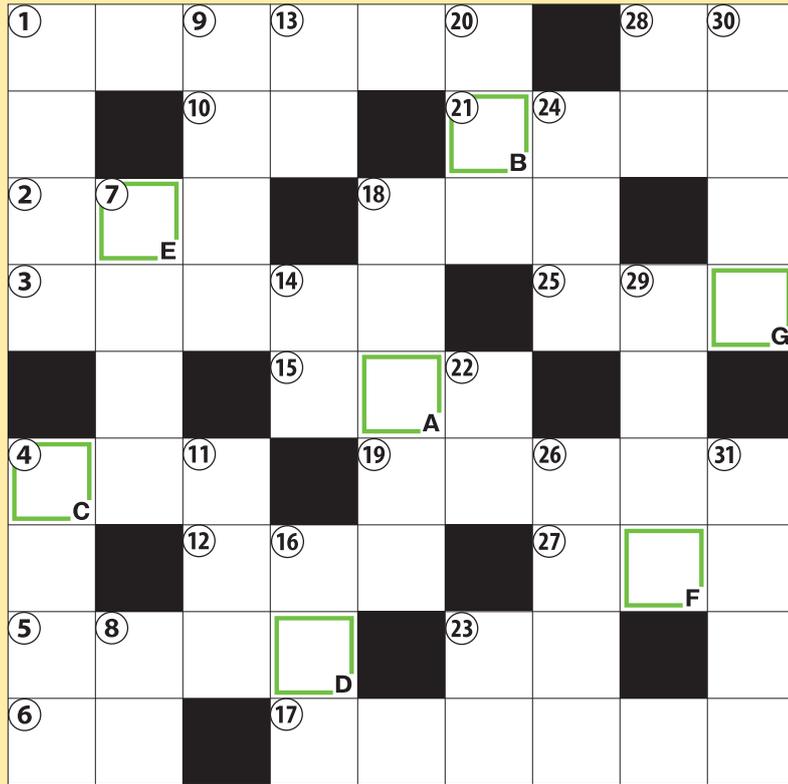
トラベル・スケッチ 福井 2
 毎日元気に! 快眠習慣 9
 ザ・スペシャリスト 10
 運動生理学者 谷本道哉さん
 久住昌之の口福飯 12
 日本の神様めぐり 14
 未来へつなぐ技術への挑戦 16
 カスタマー・ボイス 18
 新設エレベーター・
 エスカレーターへの導入
 NEWS 21
 伝言板 22
 クロスワードパズル 23
 二十四節気 日本の風物詩 24

「Fika!」の最新号が公式WEBサイトでも閲覧できるようになりました。
<https://www.MEBS.co.jp/>



※写真はイメージです

CROSS WORD PUZZLE



ヒント



鯖江(福井県)の地場産業

解き方

ヨコとタテのカギを参考にして、マス目に単語を書き入れていきます。二重ワク内の文字を、ABC順に並べると、一つの言葉が現れます。

ヨコのカギ

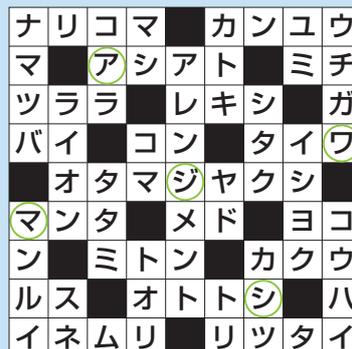
- 1 会社の来客応対をする部屋
- 2 ヒラメによく似た形の魚
- 3 テーブルテニスとも呼ぶスポーツ
- 4 年のはじめ
- 5 空想科学小説のこと
- 6 借りたお金に付けて返す
- 10 「1杯、2杯…」と数える海の幸
- 12 国産ブランドだと今治が有名
- 15 メノウ、サンゴ、貝殻などに浮き彫りを施した装飾品
- 17 七福神の一神で、打ち手の小槌を持ち、米俵の上に乗っている神様
- 18 パッハヤベートーベンの出身国
- 19 浴室の手前に設ける着替えスペース
- 21 スタンドで車に給油
- 23 ____級、____店、____糖
- 25 随筆はエッセー、詩は?
- 27 ラスト____、劇的な____
- 28 背に____はかえられぬ

タテのカギ

- 1 相撲の年寄で、部屋を営む人
- 4 睡眠中にゴロリと打つ
- 7 ダンス、ピアノ、バレエなどの稽古
- 8 板前が握る日本料理といえば
- 9 宗教的に神聖な場所
- 11 版画はこれにそって板を彫刻刀で彫る
- 13 刀剣などの手で握る部分
- 14 ____材、____暖房
- 16 神社や寺でいただく護符
- 18 オリンピックで3位になった証し
- 20 動物のオスとメスの一対
- 22 甲____付けがたい出来栄え
- 23 力が足を上げ下げして行う準備運動
- 24 「____を向く」とは、知らん顔をすること
- 26 ____足りて礼節を知る
- 28 昔話で、一寸法師の武器といえば
- 29 ドラマ撮影でセリフを間違えて出す
- 30 無作為。____に選ぶ
- 31 四駆は____駆動の略

「Fika!」
Vol.12
クロスワードパズル
解答

正解
アワジシマ

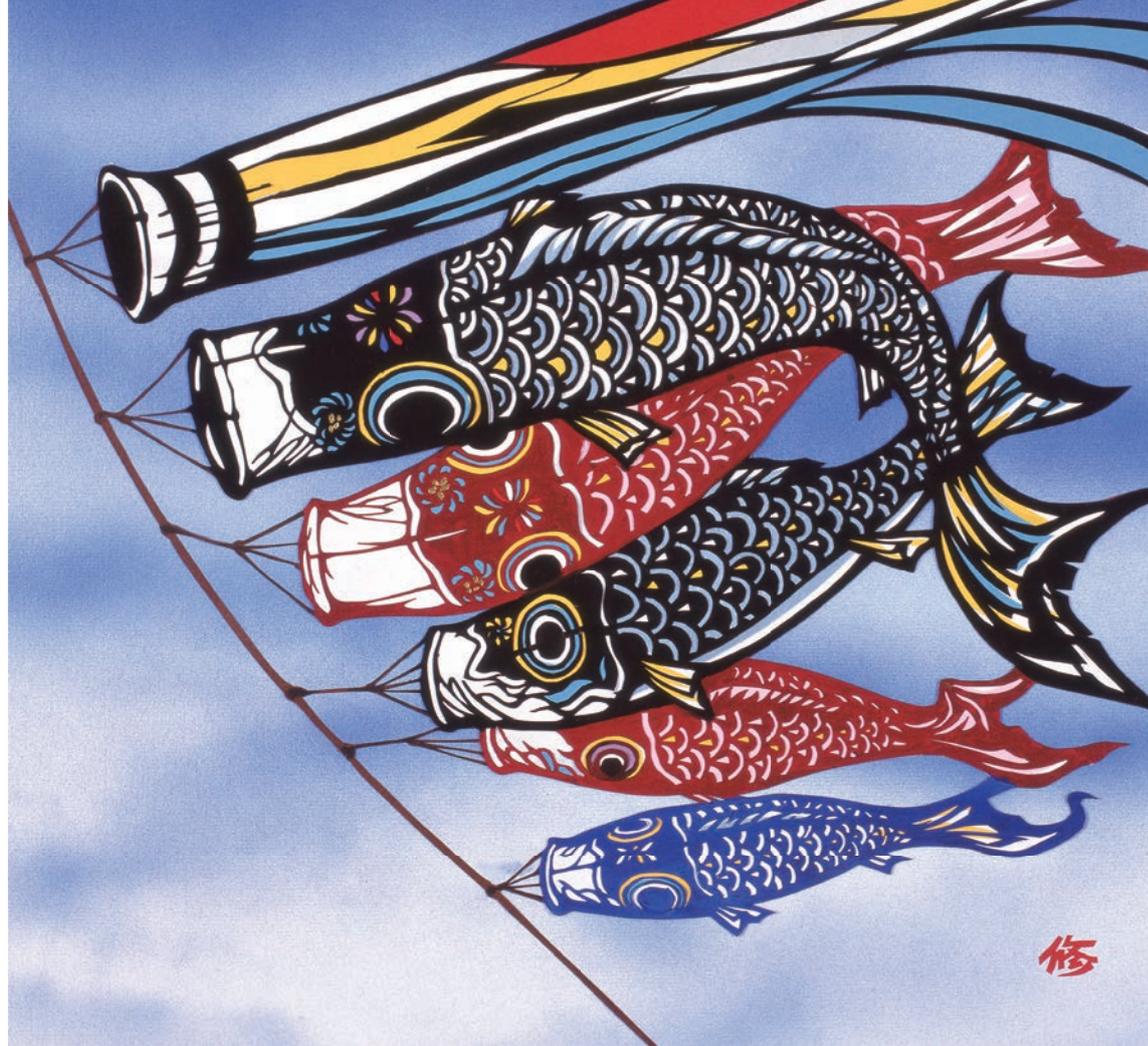


応募要項

- ★本誌とじ込みハガキに解答をご記入の上お送りください。
- ★正解は次号で発表します。
- ★正解者の中から抽選で30名様に図書カードを贈ります。
- ★当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- ★「伝言板」もご記入ください。掲載された方には図書カードを進呈します。

応募締切
2025年5月31日(土)
[当日消印有効]

二十四節気 日本の風物詩



こいのぼり



にじゅうしせつき
二十四節気

1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けた二十四の暦の言葉。



撮影:タカオカ邦彦

切り絵画家 KUBO Shu

大学の建築科在学中に切り絵を始める。ニューヨーク、スペイン、ポルトガルなど海外各地で切り絵を通じて日本文化を伝える活動を行う。日米桜寄贈100周年記念事業(2012年)においてニューヨーク/エンパイアステートビルで展示会。国内外における個展開催、作品集の出版多数。2018年久保修切り絵ミュージアムオープン(大阪府豊中市)。2019年山口県文化功労賞受賞、文化庁長官表彰、2024年外務大臣表彰を受ける。2025年7月19日から8月31日まで、青森県東奥日報新町ビルNew'sホールにて展覧会開催。

次第に夏めいてきて、気持ちのよい五月晴れの頃。五節句の一つ「端午の節句」は、五月人形やこいのぼりを飾って男児の成長を祝う。青空を、吹き流しの下に真鯉、緋鯉、子鯉と大きな順に泳ぐこいのぼりは、子供に鯉のように元気に育つてほしいと願いを込めて庭先に飾られてきた。近年は少子化や住宅事情の変化から、民家の庭に「屋根より高いこいのぼり」が泳ぐ姿を見ることは少なくなり、ベランダや玄関脇などに飾る小型のこいのぼりが増えている。いつの時代になっても、このような風習が大事に受け継がれていくことを願わずにはいられない。

※1月7日の人日、3月3日の上巳、5月5日の端午、7月7日の七夕、9月9日の重陽の5つの節句のこと。

「こいのぼり」 立夏

第16回

久保修の切り絵の世界

4月1日に当社WEBサイトをリニューアルし、URLも新しくなりました。当社の事業や取り組みを、わかりやすくご紹介しています。ぜひご覧ください。

三菱電機ビルソリューションズ株式会社

<https://www.MEBS.co.jp/>

Fkka! 春号(通巻13号)2025年4月1日発行
発行責任者・小林智里 編集制作・ダイヤモンド社



この冊子はFSC®認証紙を使用しています